

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	舞鶴(23)庁舎	階数	地上3F
建設地	京都府舞鶴市大字余部下小字余部	構造	RC造
用途地域	準工業地域、指定なし	平均居住人員	58 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2011年8月31日
敷地面積	186,968 m ²	作成者	北伸一郎
建築面積	777 m ²	確認日	2011年8月31日
延床面積	2,206 m ²	確認者	北伸一郎

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	96%
③上記+②以外のオンサイト手法	96%
④上記+オフサイト手法	96%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	3.0
温熱環境	2.8
光・視環境	2.4
空気環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	2.2
耐用性・信頼性	3.8
対応性・更新性	2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	3.0

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

建物の熱負荷	3.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	3.0
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	3.5
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

地球温暖化への配慮	3.1
地域環境への配慮	1.7
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	・機能的で使いやすい居住空間を提供し、リサイクル材料を出来る限り多く使用する計画とした。	その他 0
Q1 室内環境	・内装材は、すべてF☆☆☆☆を採用している。	Q3 室外環境 (敷地内) ・敷地内の土の部分には、すべて芝張りとした。
Q2 サービス性能	・耐久性を考慮し、給排水管の管材をC以上とした。	
LR1 エネルギー	・高効率照明器具を採用した。	LR3 敷地外環境 ・適切な量の自転車置場を確保した。
LR2 資源・マテリアル	・タイル、舗装材に再生材を採用した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい